

もくぞうだいにちによらいざぞう

●華蔵寺所有木造大日如来坐像の埼玉県指定文化財の指定について

・深谷市横瀬に所在する華蔵寺の大日堂本尊。当寺は、上野国新田荘（現太田市、伊勢崎市・みどり市・深谷市の各一部）を本拠とした新田義兼が、建久5年（1194）に開いたとされる真言宗寺院。

・義兼の守り本尊と伝わる本像は、等身より一回り大きい胎蔵界大日如来像で、制作時期は12世紀後半と推定される。ヒノキ材の寄木造で、定朝様式にならい、都風に洗練された出来ばえである。

・本像は、県北域に所在する平安仏の中でも、定朝様彫刻の典型作として際立った存在であり、また古代末から中世の新田荘に展開した仏教文化の一端を知る資料として、貴重である。



正面



左側面



背面



右側